

週報

こひつじ

第39巻 35号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

生まれつきの盲人

その二 神のわざが現われるため

沖繩復帰五〇周年記念式典の様
 子を、妻がテレビで見ているとき
 だった。 何と不幸な環境に彼は置かれた

オンラインで出席していた天皇
 皇后両陛下の顔が大きく映しださ
 れると、次に一人の歌手が立ち上
 がり、国歌「君が代」を響き渡る
 声で独唱し始めた。

妻はびっくりした。何と、それ
 は新垣勉さんだったのだ。 彼はその後、牧師を志して福岡
 の西南学院の神学部に進む。

ご存じのように新垣勉さんは全
 盲の人だ。メキシコ系アメリカ人
 の父と日本人の母との間に生まれ、
 生後まもなく、助産師がまちがっ
 て劇薬で目を洗ったために視力を
 失った。親に捨てられ、祖母に育
 った。その世話をしたのは妻だっ

た。まだ小学生だった長男の耕一
 も新垣さんが好きだった。

やがて新垣さんは東京の音楽大
 学で声楽を学び、福音歌手となっ
 たが、生活は楽ではなかった。

大学生になり、東京で寮生活を
 していた耕一にときどき新垣さん
 から電話がかかってくる。

「耕ちゃん、手伝ってくれない」
 たいていは音楽についての英語
 の論文の翻訳だった。それがすむ
 と、いつもランチをごちそうして
 くれたそうだ。

ところが、そんな生活をしてい
 た新垣さんに思わぬ機会が訪れる。
 有名な歌「さとうきび畑」のレ
 コーディングだ。CDは飛ぶよう
 に売れた。

その後のことはご存じだろう。
 新垣さんはテレビなどへの出演依
 頼が増え、全国的に知られる歌手
 となつていった。

あるときまた耕一に電話があつ
 た。

「前の狭いアパートから引越し
 たから一度見においでよ」

それは広い空間のある高級マン
 ションだった。グランドピアノも

置いてある。

耕一は心配そうに聞いた。

「CDがもし売れなくなったら、
 どうするの？」

「そのときはまた、安いアパート
 に戻るさ。もともと何も持たない
 で生きてきた人間なんだから」

でも、彼は、自分が伝道者であ
 ることは決して忘れなかった。「ナ
 ンバーワンでなく、オンリーワン
 の人生を生きよう」と、招かれた
 会場では、いつも自分の人生で神
 がなさったことを語った。

このように自分の不幸を感謝で
 きるようになったのは、神戸在住
 の著名なボイストレーナーから、
 「日本人離れした明るい声。君の
 この声はラテン系のお父さんがく
 れた宝物だ。感謝しなくてはね」

と言われたときだった。
 父親からもらった声をほめられ
 たことで父への憎しみが消え、逆
 に感謝の気持ち湧いてくるよう
 になったという。

そんな彼をよく知っている妻は、
 沖繩の復帰五〇周年記念式典で、
 堂々と歌う新垣さんを見て涙が出
 るほどうれしかったのだというの

である。

新垣さんは、かつて自分ほど不幸な人間はいないと思っていた。しかし、時がたち、神が彼の不幸を用いて、ご自分の栄光を現わされたのを見たのではなかっただろうか。

今日の礼拝

○第一礼拝は午前10時から、第二礼拝は午前11時から。○教会学校は午前10時からこひつじ館で。

○説教は坂田壮一さん。

先週の礼拝

○司会は合志文利さん、奏楽は吉岡隆夫さん。

○毎日新聞の外信部記者として

韓国のソウル支局、中国の北京総局で長く働き、最近東京の本社に戻った長男の耕一に、クリスチャンの目で見た国際情勢について語ってもらいました。その内容は以下のとおり。

一、いかなる侵略も、侵略する

側にとつて悲劇である。日本はそれを過去の経験で学んだ。隣国の朝鮮を侵略した結果、今なお朝鮮の人たちの恨みをかっている。ロシアも同じ思いをするだろう。

二、イエスは百匹の羊のうち一匹がいなくなったら、九十九匹を残して、一匹を捜し歩くと言われた。それは民主主義の国の理想である。個人が大事にされるのである。だが、ロシアや中国のような全体主義国家では異なる。九十九匹は保護されるが、いなくなった一匹は切り捨てられる。それを何度も中国で見てきた。

どちらが人間の理想とすべき考えかは、おわかりいただけだと思う。

以上の二つが、世界情勢を見るときの私の尺度である。

先週の出席

第一礼拝が四一名、第二が三十五名、合計七十六名(男二八、女四八)子ども六名。合わせて八二名でした。

一、いかなる侵略も、侵略する

案内

○第一回目の「説教者の会」を、第二礼拝後、二階東側のカウンスリングルームで行ないます。説教者の方たちはお集まりください。短く感想を語り合い、ともに祈りましょう。一〇分ほどの会ですので、ご協力ください。

○『こひつじJr』第一八号ができました。今回の「あの人インタビュー」は山村みゆきさんです。

『現代に生きるイエスの教え』

新しい本ができました。マルコ福音書からの説教をまとめたものです。米村幸子さんの証も載せられています。伝道に使っていただけたら感謝です。

定価は一冊七〇〇円ですが、教会ではいつものように五〇〇円で販売します。できれば二冊買って、一冊は友人にさしあげてください。

一、いかなる侵略も、侵略する

牧師身辺

礼拝を休まれた方に週報と教会からの手紙を毎週お送りするようになって三年半になります。ときどきお休みすることもありますが、これからもできるだけお送りしたいと思っています。

ある方から、こんなメールをいただいていた励まされました。

このたびも週報と教会からの手紙(二七五号)をありがとうございました。私が初めていただいたものは、二〇二〇年八月二三日発行の二一号です。もう三年も経つんですね。

長い間、週報と手紙の発送を続けてくださり、感謝です。週報も楽しみですが、手紙はもっと楽しみです。その時々々の教会の皆様のご様子を知ることができず、皆様宛のお手紙ですが、私宛への手紙にも思えてうれいのです。きつと受け取られる皆さんが同じようにお感じになっているのではないのでしょうか。(G.K)

一、いかなる侵略も、侵略する